

事業名	総合流域防災事業	事業主体	静岡県
箇所名	一級河川 <small>ぬまづえがわ</small> 沼津江川	市町村名	沼津市

事業概要

事業期間	当初	昭和56年度～平成17年度	事業費	当初	1,082百万円
	実績	昭和56年度～平成21年度		実績	1,520百万円

事業量	河川改修 延長 620m 護岸工 620m、掘削工 8,750m ³ 、道路橋 6橋、用地買収 3,254m ²
-----	---

事業の目的・必要性

- 事業の目的・必要性
年超過確率1/50の降雨(時間雨量79ミリ)による洪水を安全に流下させ、都市化の進んだ沼津市香貫地区を氾濫、浸水被害から守る。
- 河川及び事業の概要
 - 沼津江川は香貫山に源を発し、沼津市街地東南部を通り狩野川に注ぐ、流域面積2.3km²、河川延長3.9km(県管理区間:0.7km)の一級河川である。
 - 昭和56年から小規模河川改修事業の採択を受け、年超過確率1/2規模の狭窄河川を改修し、年超過確率1/50の降雨(時間雨量79ミリ)による洪水を安全に流下させることのできる河川に整備した。
 - 本事業により護岸工 延長620m、橋梁6橋の架替えを実施した。

事業の効果等

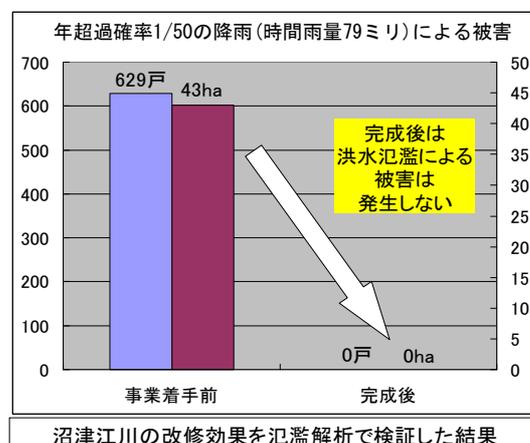
費用対効果分析結果	当初	B/C	総費用	— 億円	総便益	— 億円	基準年
			—	(事業費: — 億円 維持管理費: — 億円)		(便益: — 億円 便益: — 億円 便益: — 億円)	
	事後	B/C	総費用	3,880百万円	総便益	166,504百万円	基準年
		42.9	(事業費: 3,482百万円 維持管理費: 398百万円)		(便益: 166,477百万円 残存価値: 27百万円)		H26 年

(1) 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

事業実施当初は費用対効果分析(B/C)を実施していないため比較できないが、近年の工場・宅地造成などの開発行為に伴う市街化により、現在の被害軽減便益は高くなっている。

(2) 事業効果の発現状況

事業完了後、計画の年超過確率1/50の降雨(時間雨量79ミリ)と同規模の降雨が発生していないため、同規模での実現象は把握できていないが、完成後に経験した計画規模以下の豪雨においては、この流域での浸水被害が発生していないため、治水効果が発揮されているものと考えられる。



沼津江川の改修効果を氾濫解析で検証した結果

事業実施による環境の変化

護岸工の材料を凹凸のあるブロックを使用したことにより、現場は河川の潮位を伴う干潮区間でも植生の繁茂が見られるなど、多自然川づくりを実施した。

都市部の貴重な水辺空間が創出されたことにより、シギ、チドリ類やカモ類など多くの野鳥の飛来や安息している姿が確認されている。

また、隣接する狩野川本川では、堤防上をウォーキングやマラソン大会のルートとするなど、沼津江川を含め、市民の憩いの場としての役割を担っている。

事業を巡る社会経済情勢等の変化

①土地利用高度化の進展

沼津江川流域は、沼津駅など中心市街地に近いこともあり、利便性が極めて良い特徴をもつことから、建設当時に比べ経済発展と共に、左右岸沿いとも工場や住宅が連立し、事業採択時と比べ都市化が進み、水害が発生した場合の危険度は増している。

②河川利用の促進

沼津江川の河川管理道や、狩野川本川の堤防上では、ウォーキングに利用されるなど、都市部における「やすらぎ」を感じとれる貴重なオープンスペースとしての役割を担っている。

対 応 方 針 （案）

1 事業効果は十分発現しており、改善措置の必要はない。

事業完了後、計画の年超過確率1/50の降雨（時間雨量79ミリ）と同規模の降雨が発生していないため、同規模での実現象は把握できていないが、完成後に経験した計画規模以下の豪雨においては、この流域での浸水被害が発生していないため、治水効果が発揮されているものと考えられる。

また、都市部の貴重な水辺空間を創出したことにより、鳥類をはじめとした動植物の安息の場として、また、ウォーキングなどが安心してできるオープンスペースとしての役割を担っている。

2 今後の課題・対応

環境面では、地域住民から河川内へのごみの不法投棄の増加を心配していることから、地域住民との連携をより一層深め、不法投棄防止の啓発活動に努める。

また、ゲリラ豪雨など、想定外の豪雨に対しても、狩野川のハザードマップを活用するなど、被害が発生した場合でも、その被害を最小限に抑えることができるように沼津市の関係機関や地域住民とも連携強化を行う。

3 同種事業への反映等

治水に加え、環境や河川利用に配慮した川づくりを地域住民との協働により推進し、適正な維持管理を図っていく。



一級河川 沼津江川 位置図

(国)1号

30

御殿場線

東海道本線

沼津市
1:25,000

沼津駅

狩野川

しみずちょう
清水町

一級河川沼津江川
総合流域防災事業 L=620m

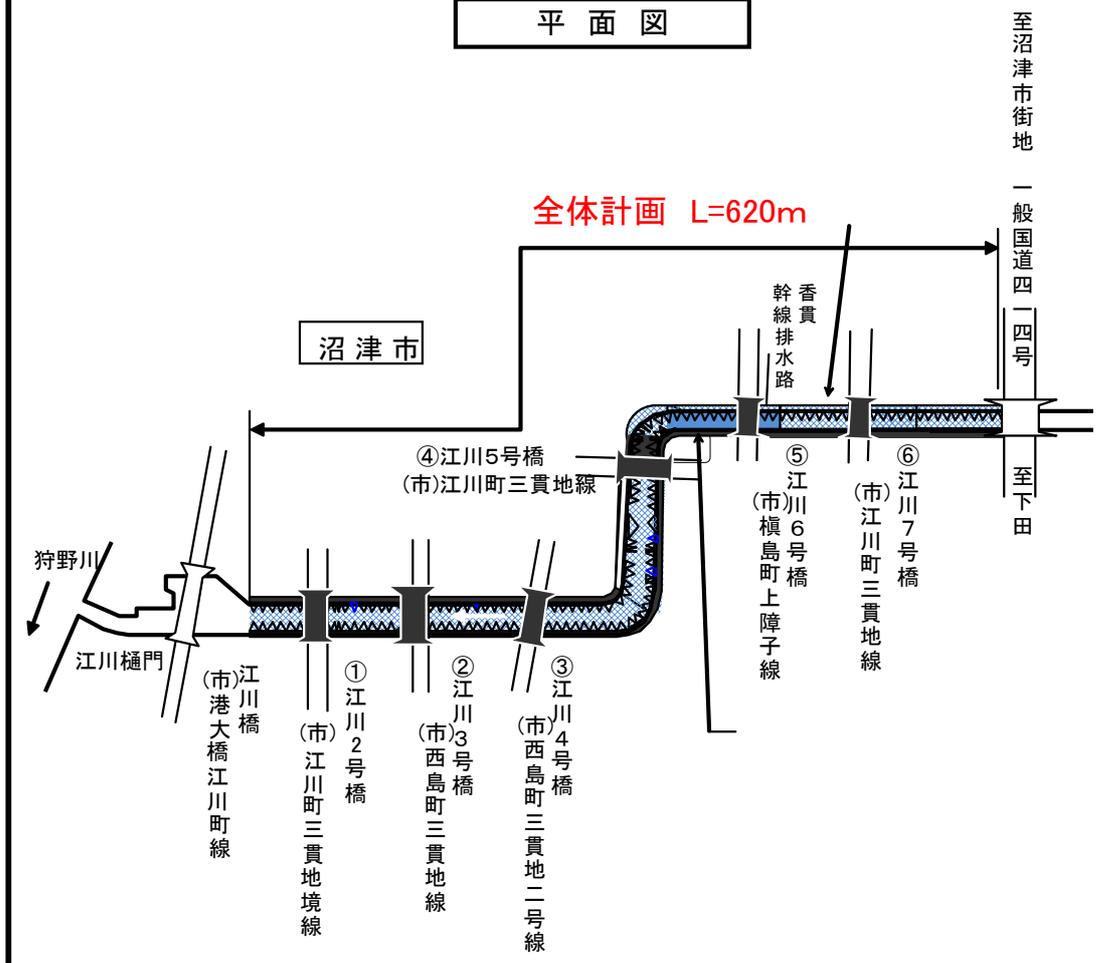
沼津港

狩野川

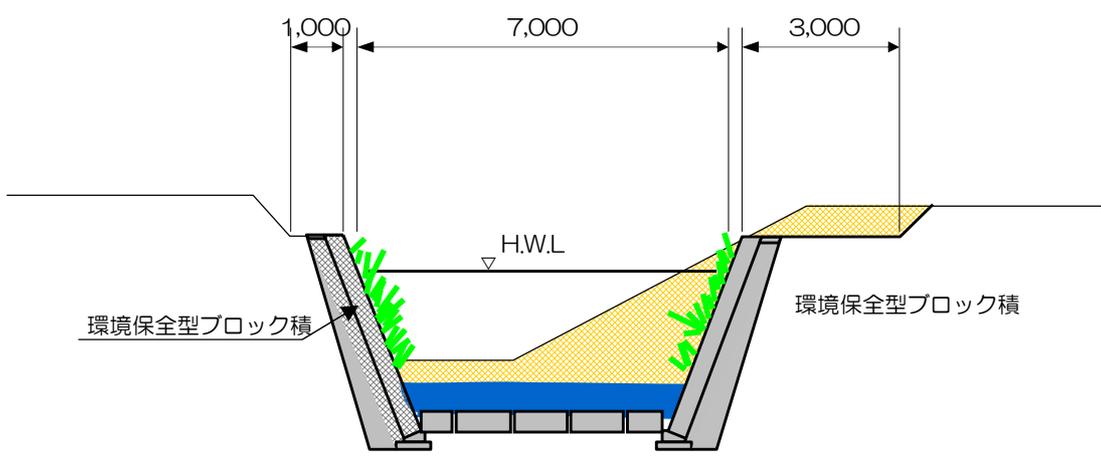
沼津市

凡例	
事業対象箇所	
流域界	
S49.7.7浸水実績	

平面図



横断図



多自然川づくりの概要
 護岸に多孔質な材料を使用
 → 植生の復元

一級河川 沼津江川 航空写真

垂直写真



斜め写真

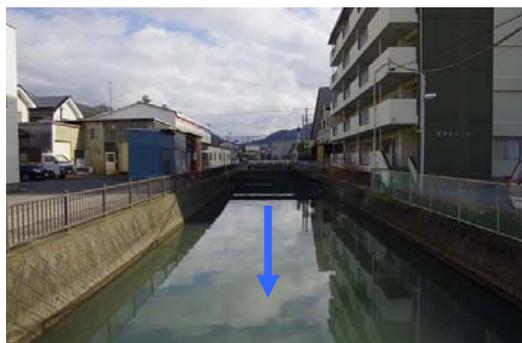
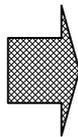


改修の状況

江川3号橋より上流を望む



改修前



改修後

江川7号橋より下流を望む



改修前



改修後

河川利用

狩野川合流点ではマラソン大会にも利用されている



植生の復元



河川内に集う野鳥(カモ類)



浸水状況 (S49.7.7豪雨)

